

### 3. 市民意向の把握

#### 3-1. 市民意識調査

市民意向の把握として、「砂川市第 7 期総合計画」を策定するにあたって実施された市民意識調査と、「砂川市都市計画マスタープラン」策定にあたって実施したアンケート調査について、それぞれ示します。

##### ①砂川市第 7 期総合計画市民意識調査（緑、景観等に関する市民意識の概要）

砂川市第 7 期総合計画市民意識調査は、計画を策定するにあたり、市民の皆さんがまちの現状をどのように認識しているのか、また、将来どのようなまちになることや、どのような暮らしを望んでいるかについて、市民の意識や考え方を把握し、新しいまちづくりの計画の基礎資料とするために実施されたものです。

調査は、令和元年 6 月 14 日（金）～7 月 12 日（金）に、市民 1,500 人を年代別人口構成比に応じた割り当て数無作為抽出して実施しました。（回収数：598 通・回収率：39.9%）

アンケート結果のうち、緑に関する問 8～問 10-3 について抜粋し、平成 21 年度に実施された砂川市第 6 期総合計画市民意識調査の結果とあわせて整理します。

a)問 8「あなたは、砂川市全体の緑が広がる景観について、どの程度満足していますか。」

・問 8 の緑、景観に関する満足度において、今回調査（令和元年度）と前回調査（平成 21 年度調査）における「満足」「やや満足」の合計を比較すると下記のとおりとなりました。

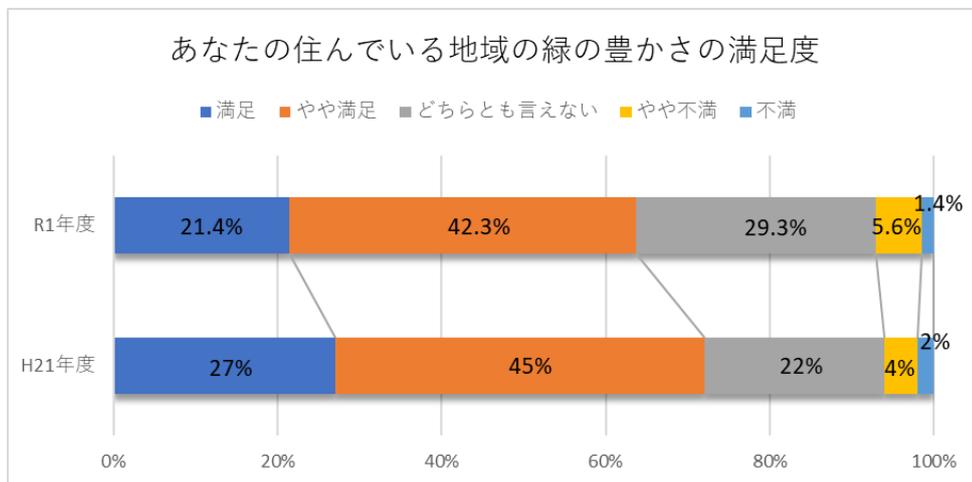
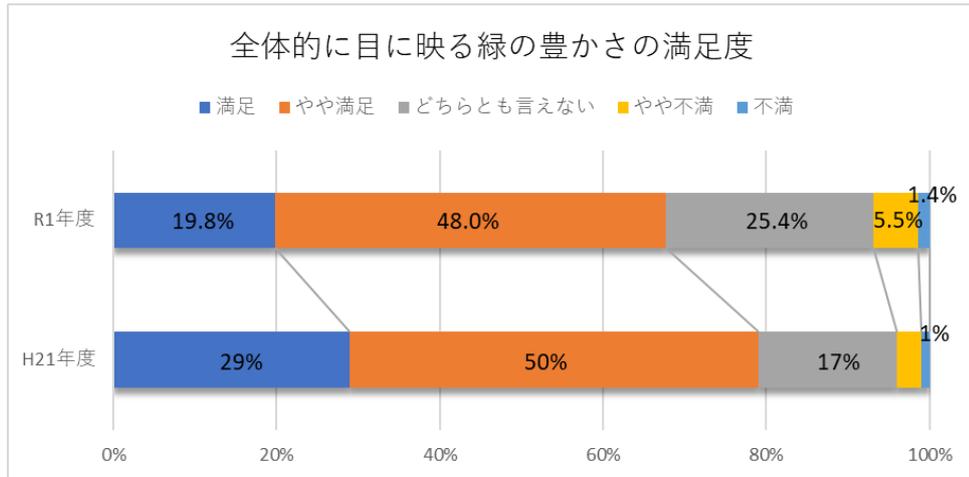
- 『全体的に目に映る緑の豊かさ』：79%→67.8%（11.2%減）
- 『あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ』：72%→63.7%（8.3%減）
- 『河川や山などの自然景色』：73%→65.4%（7.6%減）
- 『街路樹などの町なみの美しさ』：52%→45.5%（6.5%減）
- 『郊外の水田、畑などの田園風景』：52%→53.5%（1.5%増）

・上記の市民意識調査の結果を見ると、『郊外の水田、畑などの田園風景』を除く項目で前回調査に比較して満足度が下がっています。

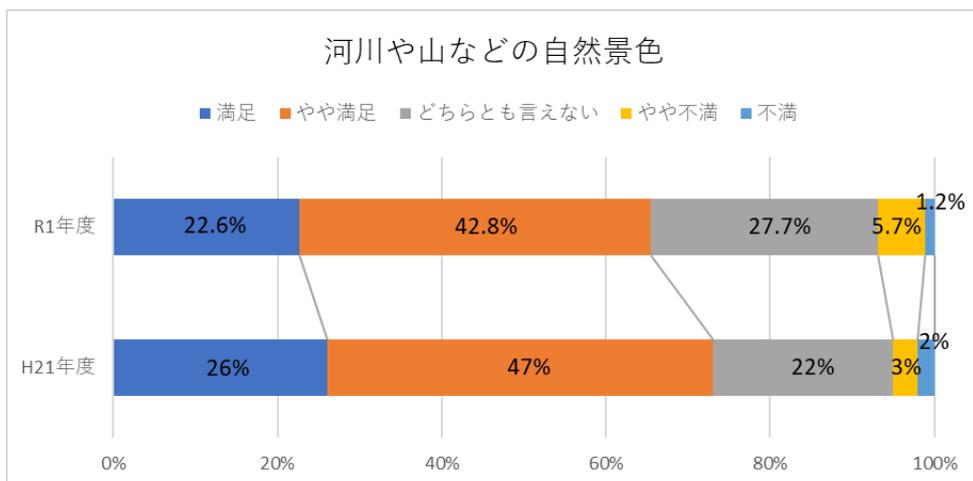
・ただし、『街路樹』や『田園風景』といった具体的な景観に関する「満足」または「やや満足」は 5 割前後、『緑の豊かさ』といった漠然とした印象に関する「満足」または「やや満足」は、『自然景色』も含めて 6.5 割前後となっており、「不満」、「やや不満」に比較すると満足度が高い状況でした。

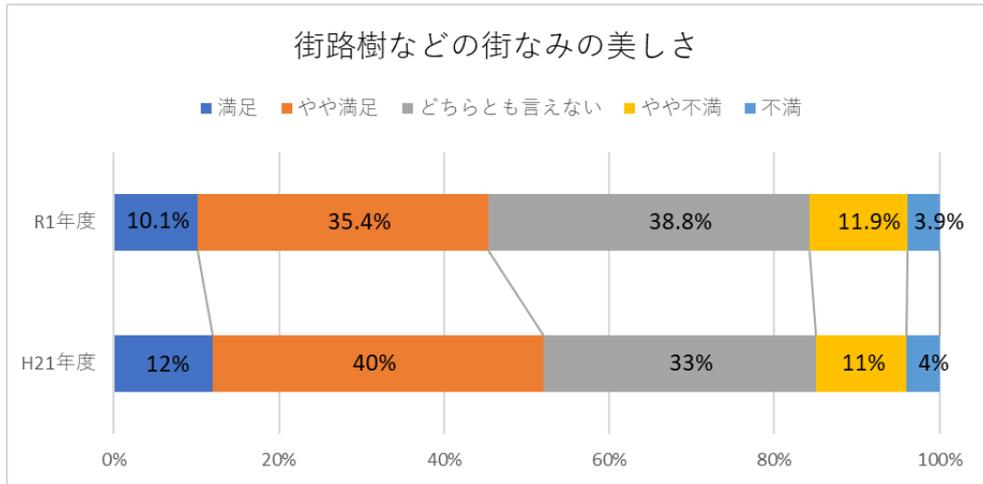
・全体的に、「不満」と「やや不満」の合計は少ないものの、「どちらとも言えない」が 25～40%であることから、市民の緑に対する関心が薄れてきている可能性があります。

■ 砂川市全体の緑が広がる景観に関する満足度(1)

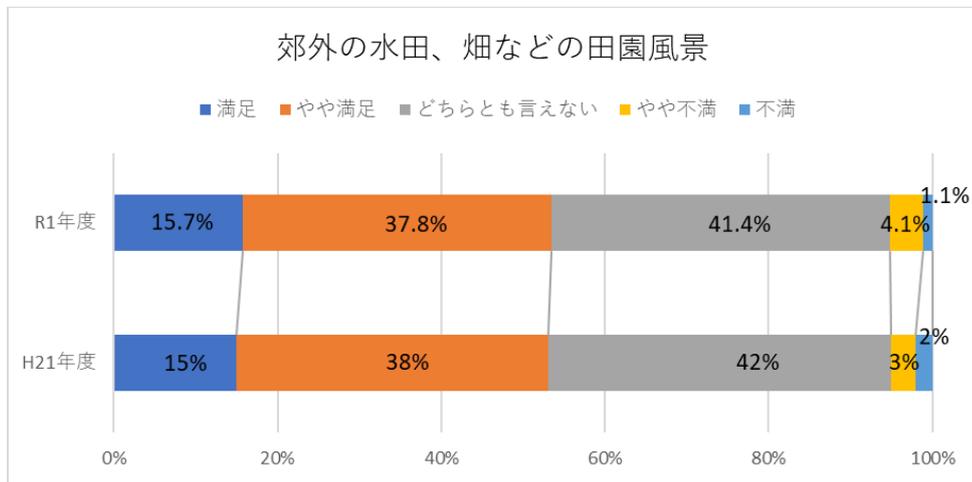


■ 砂川市全体の緑が広がる景観に関する満足度(2)





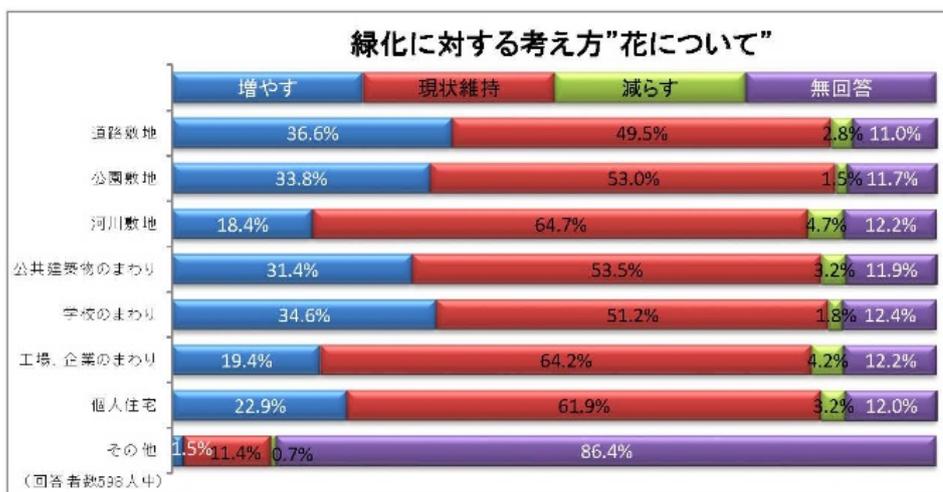
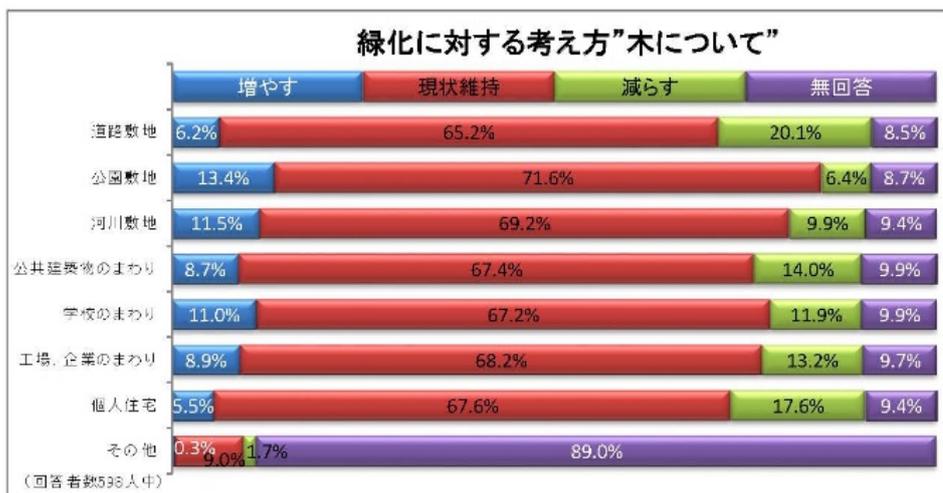
■ 砂川市全体の緑が広がる景観に関する満足度(3)



b)問 9「あなたの目から見た緑化に対する考え方で当てはまるものを選んでください。」

- ・問 9 の緑化に関する考え方においては、すべての場所において『現状維持』が最も多い意見となりました。道路敷地に関しては 2 割の方が『減らす』の意見でした。
- ・また、『増やす』という回答に関しては木よりも花において高い数値となっています。

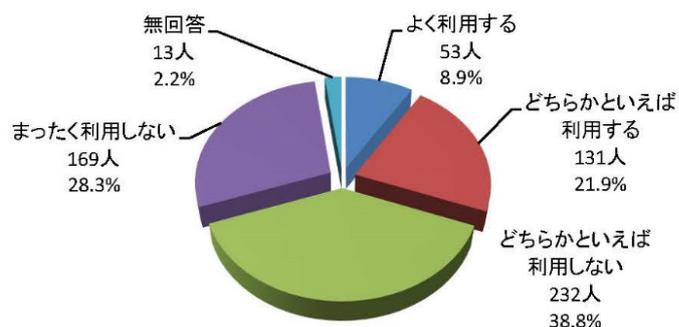
### ■緑化に対する考え方



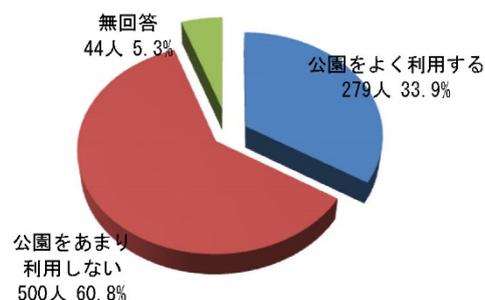
c)問 10-1「あなたは、公園をどれくらい利用していますか。」

- ・問 10-1 の『公園の利活用』に関する調査においては、「公園をよく利用する」「どちらかといえば利用する」の合計が 30.8%と、3 人に 1 人未満しか利用していない結果となっています。
- ・砂川市第 6 期総合計画市民意識調査の結果（平成 21 年度：33.9%）と比較しても、公園を利用している人が減る傾向にあると考えられます。

■公園の利活用について



【令和元年度調査】

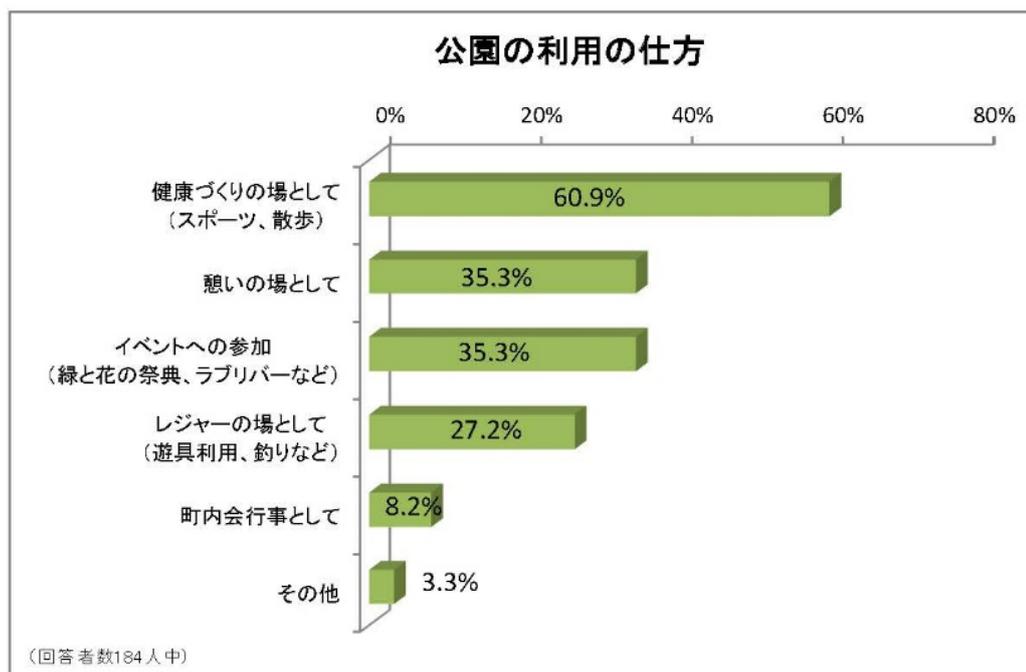


【平成 21 年度調査】

d) 問 10-2「公園をよく利用する方に、利用内容についてお伺いします。」

- ・問 10-2 の『公園の利用の仕方』に関する調査においては、「健康づくりの場として（スポーツ、散歩）」の利用が 60.9%と最も高く、次いで「憩いの場として」（35.3%）、「イベントへの参加（緑の花の祭典、ラブリバーなど）」（35.3%）となっています。

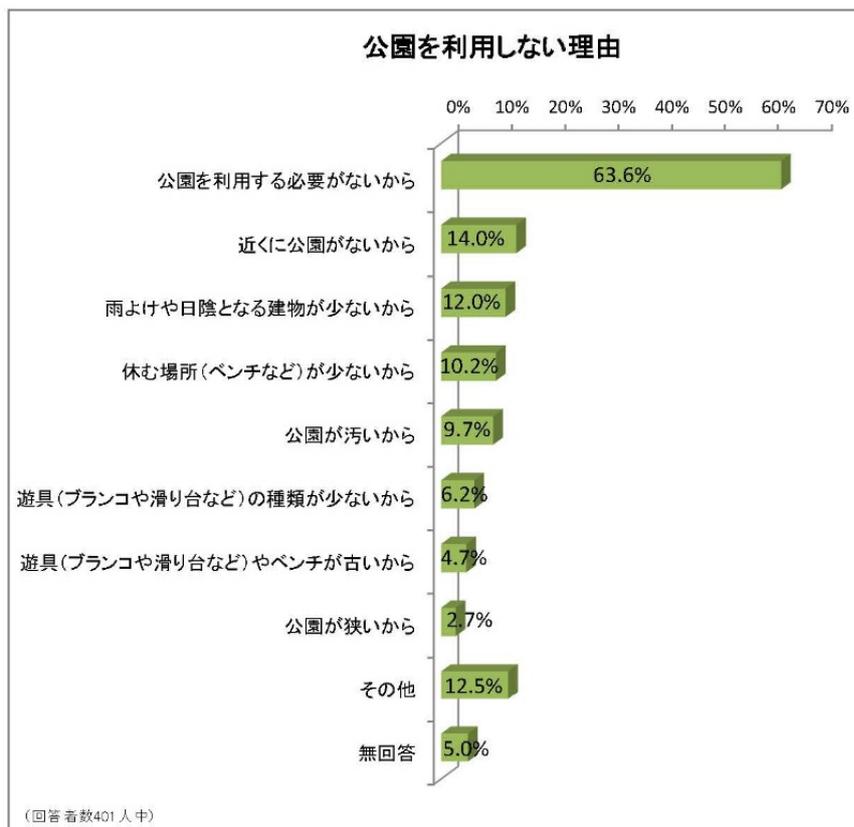
■公園の利用の仕方



e) 問 10-3「公園をあまり利用しない方に、利用されない理由についてお伺いします。」

・問 10-3 の『公園を利用しない理由』に関する調査においては、「公園を利用する必要がないから」が63.6%と最も高い状況でした。このとき、『その他』の記述内容を見ると、「年齢とともに足遠くなった」「大人が利用する理由がない」「子供がいない/大きくなったため」という、少子高齢化を反映したニーズの変化に対応できていない状況が窺えます。また、「草がのびていることが多いので行きたくない」「整備、修復されていない場所が多い」「トイレがきれいではない」といった維持管理不足と考えられる要因も記載されていました。

#### ■ 公園を利用しない理由



#### 【砂川市第7期総合計画市民意識調査のうち、緑、景観に関する回答結果のまとめ】

- ・緑の豊かさについては満足度が高い結果となりました。
- ・一方、『街路樹』や『田園風景』といった具体的な景観に関しては、「満足」「やや満足」の合計が5割程度でした。
- ・緑化に関する考え方においては、すべての場所において『現状維持』が最も多い意見となりました。
- ・公園については、3人に1人未満しか利用されていない結果となりました。

## ②砂川市都市計画マスタープラン及び砂川市緑の基本計画市民アンケート調査

「砂川市都市計画マスタープラン」及び「砂川市緑の基本計画」の策定にあたり、まちづくりに対する市民意向などを把握し、今後のまちづくりに生かしていくため、市民アンケート調査を実施しました。砂川市第7期総合計画策定時に同様のアンケートを行っているため、重複する設問は避けることとしました。

### ■調査の実施状況

- ・実施地域：砂川市全域
- ・対象：砂川市在住の18歳以上の男女
- ・配布数：1,500名
- ・抽出方法：住民基本台帳から地域別・年代別に等間隔で無作為抽出
- ・発送：令和2年7月14日郵便にて発送
- ・回収：令和2年7月14日から8月7日まで  
砂川市宛の郵送にて回収
- ・回収票：549票（回収率：36.6%）
- ・回答した方の属性：



(問1) 年齢	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70歳以上	未回答・不明	合計		
	13 2.4%	60 10.9%	96 17.5%	101 18.4%	92 16.8%	63 11.5%	121 22.0%	3 0.5%	549 100%		
(問2) 性別	①男性		②女性			未回答・不明			合計		
	214 39.0%		317 57.7%			18 3.3%			549 100%		
(問3) 居住地	①空知太地域	②北光地域	③市街地北地域	④市街地南地域	⑤豊沼地域	⑥郊外地域	未回答・不明	合計			
	74 13.5%	3 0.5%	150 27.3%	213 38.8%	6 1.1%	91 16.6%	12 2.2%	549 100%			
(問4) 職業	①会社員	②公務員・ 団体職員	③自営業 (商店・企業 経営)	④農林業	⑤専業主婦 (主夫)	⑥パート・ アルバイト	⑦学生	⑧無職	⑨その他	未回答・ 不明	合計
	131 23.9%	67 12.2%	32 5.8%	8 1.5%	74 13.5%	73 13.3%	22 4.0%	114 20.8%	23 4.2%	5 0.9%	549 100%
(問5) 居住年数	①5年未満	②5～9年	③10～19年	④20～29年	⑤30年以上	未回答・不明	合計				
	53 9.7%	39 7.1%	89 16.2%	87 15.8%	275 50.1%	6 1.1%	549 100%				
(問6) 車の保有 状況	①世帯で車を持ち、 自分も運転している		②世帯に車はあるが、 自分は運転していない		③世帯で車を保有してい ない		未回答・不明	合計			
	418 76.1%		76 13.8%		51 9.3%		4 0.7%	549 100%			

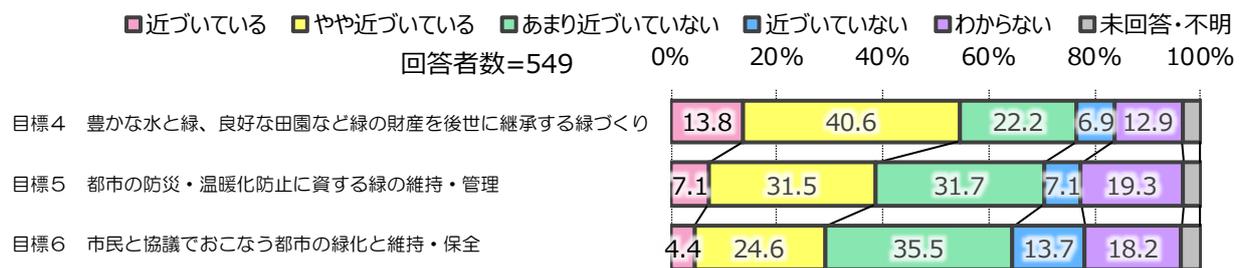
※集計結果を回答数の構成比で示していますが、構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

以下、アンケート結果のうち、緑に関する問8、問14～16について抜粋して整理します。

a)問 8「<砂川市緑の基本計画について> 現行の計画での目標（4～6）について、最近10年間のまちづくりの様子から、あなたは目標に近づいていると思いますか」

- ・砂川市緑の基本計画の目標について、「目標4 豊かな水と緑、良好な田園など緑の財産を後世に継承する緑づくり」では「近づいている」「やや近づいている」をあわせると54.4%と高くなっていますが、「目標6 市民と協議でおこなう都市の緑化と維持・保全」では「あまり近づいていない」「近づいていない」をあわせると49.2%となっています。
- ・自然環境や公園・緑地については充実してきていると感じているが、協働での緑づくりについては実感できていないと考えられます。

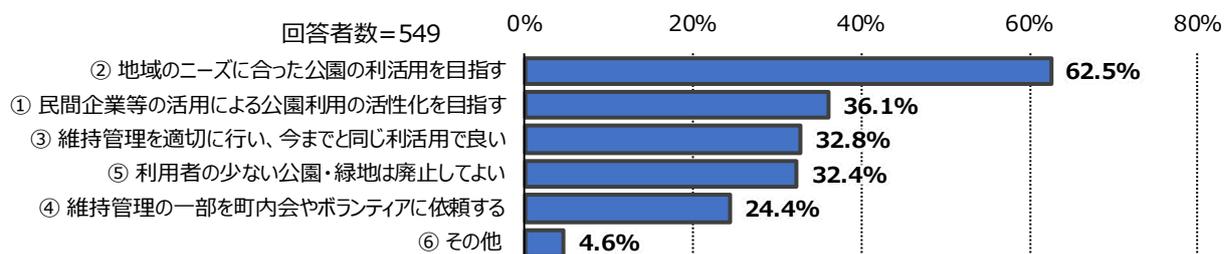
### ■砂川市緑の基本計画について【全体】



b)問 14「人口減少や少子高齢化などを踏まえて、公園の目指すべき方向性についてどのようにお考えですか。」

- ・公園の目指すべき方向性は、「②地域のニーズに合った公園の利活用を目指す」を回答者の62.5%が選択しており最も多く、次いで「①民間企業等の活用による公園利用の活性化を目指す」36.1%、「③維持管理を適切に行い、今までと同じ利活用で良い」32.8%、「⑤利用者の少ない公園・緑地は廃止してよい」32.4%となっています。
- ・公園利用者の年齢やライフスタイルなどニーズに合った公園整備が望まれていると考えられます。

### ■公園の目指すべき方向性【全体】

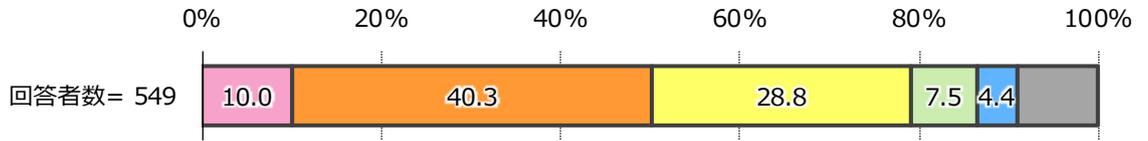


c)問 15「人口減少や少子高齢化などを踏まえて、公園の遊具について、今後どのような方針で進めていくべきだとお考えですか。」

- ・公園の遊具については、「②利用の少ない遊具の撤廃・入替により総数を減らすべきである」が40.3%と最も多くなっており、次いで、「③今ある遊具を適切に維持管理するべきである」が28.8%、「①維持管理費の削減のため、遊具は減らすべきである」が10.0%となっています。
- ・遊具については量よりも質が求められている傾向が見受けられます。

■ 公園遊具の今後の方針【全体】

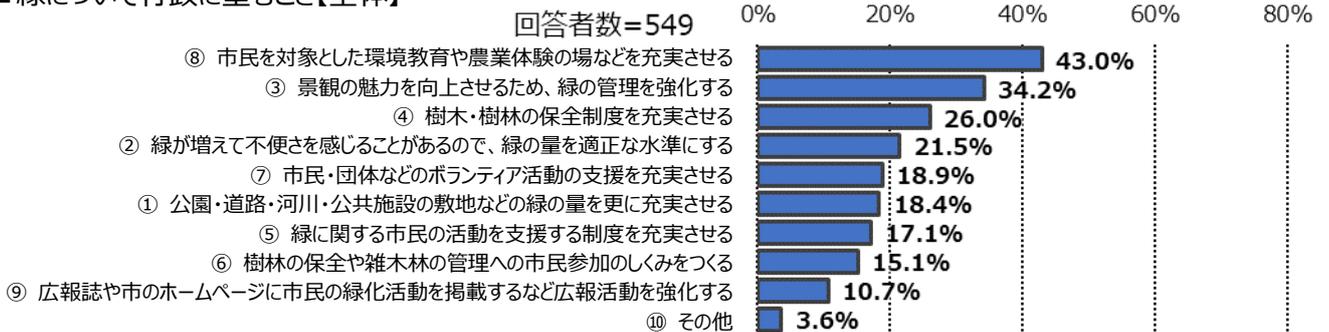
- ① 維持管理費の削減のため、遊具は減らすべきである
- ② 利用の少ない遊具の撤廃・入替により総数を減らすべきである
- ③ 今ある遊具を適切に維持管理するべきである
- ④ 公園の利用促進のため、遊具は増やすべきである
- ⑤ その他
- 未回答・不明



d)問 16「今後、砂川市の緑について行政に望むことを教えてください。」

- ・緑について行政に望むことについて、「⑧市民を対象とした環境教育や農業体験の場などを充実させる」を回答者の43.0%が選択しており最も多く、次いで「③景観の魅力を向上させるため、緑の管理を強化する」が34.2%、「④樹木・樹林の保全制度を充実させる」が26.0%となっています。
- ・現在は緑の量よりも質が求められており、更に緑と触れ合う機会が求められていると考えられます。

■ 緑について行政に望むこと【全体】



【都市計画マスタープラン及び緑の基本計画市民アンケート調査のうち、緑、景観に関する回答結果のまとめ】

- ・自然環境や公園・緑地については充実してきていると感じられていますが、協働での緑づくりについては実感できていないと考えられます。
- ・人口減少や少子高齢化に伴い、公園利用者の年齢やライフスタイルなどニーズに合った公園整備が望まれています。また、遊具については増やす必要性が低く、利用の少ない遊具については撤去して総数を減らすべきと考えられています。
- ・緑化推進に関する行政については、環境教育や農業体験の場など緑とのふれあいの場の充実や、景観の魅力を向上させるための管理の強化が求められています。

### 3 - 2. 緑に関する市民意識のまとめ

市民意向調査から緑に関する問題点等を取りまとめると下記のように整理されます。

- ・緑化に関する考え方として、「現状維持」が最も多い意見であったため、緑のストックを増やす必要性は小さいと考えられます。「増やす」ことに関しては木よりも花において望まれています。
- ・公園については、人口減少や少子高齢化に伴い利用者が減少しており、公園利用者の年齢やライフスタイルなどニーズに合った公園整備が望まれています。（健康づくりや憩いの場など）
- ・また、公園の遊具については、利用の少ない遊具については撤去して総数を減らすべきと考えられています。
- ・緑化推進に関する行政においては、環境教育や農業体験の場など緑とのふれあいの場の充実や、市民との協働による緑づくりを推進することが望ましいと考えられます。
- ・近年、緑や景観に対する市民の関心が薄れてきている可能性があるため、これらの重要性について啓発を図ることが望ましいと考えられます。
- ・街路樹による街並みの美しさに関して「満足」「やや満足」の合計が 50%を下回っており、管理強化が求められています。